

- 途中トラブルでピットに入るがすばらしいピットワークで54台中11位でゴール。



# どうどうの世界第11位



- こうして僕らの暑い(熱い)夏は過ぎていきました...



# 反省点

- 製作中
- ぶっつけ本番でFRPを作ったら予想以上に強力に固まって型に貼り付いてしまい失敗 時間も材料も無駄にしてしまった。
- 早いうちから計画を立てて、製作していかないと時間的にも精神面的にも余裕が無くなってしまふ。
- いいかげんに作るとそのいいかげんさを補うのに倍以上の苦勞と時間がかかってしまふことを痛感する。

- CFRPが局部的な力に弱く、これに対する補強が特に大変であった。
- 試走行をしたおかげでバグも見つけられたので、早めに完成させて試走行を何回も行うことが望ましい。
- メーター類などが正常に作動するかがレースで良い走りをするための必要条件であり、そのための配線ミスのバグが直せたのはこの試走行のおかげである。

- 大会中
- チェーンはずれのトラブル対処に時間を取られ、最高速を上げるギアの作業ができなくなる。
- レース前緊張してしまいタイヤ空気圧やチェーンのゆるみ、各ボルトのゆるみチェックなどレース中にこれらのトラブルが無くて良かったものの、これは忘れてはいけないことである。
- そのため二周目にピットインしたがすばらしいピット作業(ピットイン時間2分26秒)でチームワークの良さを確認。

- 心配したバッテリー切れを起こさず完走できた。

# 他チームを見て感じたこと

- 上位チームの車体の完成度の高さには驚くばかり



# 今回の車体費用

- λ 車体(ボディ内側) 15万円。
- λ カウル(ボディ外側) 7万円。
- λ ソーラーパネル4枚25万円。
- λ バッテリー(チャージャー込) 5万円。
- λ タイヤ(予備込) 3万円。
- λ 去年の車体から使えるものはなるべく使って節約したものの、合計はおよそ55万円くらいになります。